

## 平成28年度 事業計画

### 1. はじめに

かつてない強力な金融・財政政策、いわゆるアベノミクスの成果として、名目GDP並びに国民総所得が大幅アップし、これと共に企業収益は過去最高となりました。しかしながら、まだ国民の多くは、景気の回復を実感できない状況下にあります。

今年度は、今の経済情勢が順調に推移するかが問題ですが、世界の中東地域での緊張感が増していることや、これまで力強く成長をけん引してきた新興国経済の弱さが見えていることを考えますと、我が国も安閑としていられる状態ではなく、つまり不安定要素がそこかしこにあるのではないのでしょうか。

シルバー人材センターを取り巻く環境は、同じように厳しい状況にあるといえます。ひとつ挙げれば、65歳定年制から更なる雇用継続が多くの企業に浸透し、このためシルバー人材センターへの新規入会者の年齢が70歳に近づきつつあり、シルバー人材センターの喫緊の課題である会員の増強対策上のネックとなりつつあります。

こうした中、当センターの実績は平成27年12月現在で、受託契約高は前年比2パーセント増、受託件数は10パーセント強増と中期5ケ年計画を上回るペースで推移しています。ただ、前述しましたように、今年度の経済情勢の順調な進展が見込めるかどうか不透明な部分がありますので、予断を許さない状況といえるでしょう。

ただ、こうした厳しい状況下にあります。シルバー人材センターに対する期待は、大きくなることはあっても、小さくなることはないといえます。国の予算も、昨年比で増額される予定ですし、市民や高齢者のニーズは質的にも量的にも増加が見込まれます。

例えば、昨年から実施されました高齢者活用・現役世代雇用サポート事業は、高齢化や労働力人口の減少が進行する中、人手不足分野や現役世代を支える分野での高齢者の就業の促進は、シルバー人材センターにとってますます重要となり、今年度より更に強化されようとしています。

また、一昨年12月の介護保険法改正により、平成29年4月までに介護保険の生活支援事業の一部が市に移行されます。当センターも、この生活支援事業のサービス提供団体として期待されていますので、行政の意向、指導に対して、機敏で、的確な対応がとれるよう体制を整えておく必要があります。

これらの要請に応えていくためには、会員一人一人の協力と決意が必要となってきます。安全・適正就業の徹底、職群班・地域班等の組織基盤強化、それに地域貢献のための事業拡大に取り組むことも、いつものことながら重要となってきます。

今年度は、当センターにとって創立30周年という記念すべき年となります。こうした課題を着実にクリアして、盤石の組織作りに邁進します。

## 2. 本年度の事業目標

本年度の事業目標は、以下のとおりとします。

1. 会員数	595人
2. 受託契約高	2億4,740万円
3. 就業延べ人員	56,000人日
4. 就業率	90%
5. 重篤事故	ゼロ

## 3. 基本計画

本年度の事業目標を達成するために、次の基本計画を実施します。

### (1) 会員増強

センター発展の基本となる会員の増強対策として、次の具体的な取り組みを進め、働く意欲と豊富な知識・経験を持つ高齢者の入会を積極的に推進します。

- 1) 地域班や職群班による口コミ活動等の実施
- 2) 女性会員の口コミ勧誘による女性会員の確保
- 3) 四街道市の出前講座に登録し、入会希望者等に対する積極的なアプローチを検討
- 4) Webサイトからの受注体制の整備を検討
- 5) メールやインターネットを利用した、会員への連絡方法の検討
- 6) 未就業会員の解消の施策を検討
- 7) 入会手続き方法の見直しを図る
- 8) その他、会員の増強に関すること

### (2) 新たな就業の場の開拓

会員の増強・拡大を図る上でも重要な課題となる新たな就業の開拓に努めます。

- 1) 生活サポート班の充実と生活サポート事業の展開
- 2) チケットサービスの実施
- 3) 一般労働者派遣事業の強化
- 4) 魚（ホンモロコ）養殖事業、花卉栽培事業の検討
- 5) その他、就業機会の創出に関すること

### (3) 地域活動とボランティア活動の強化

- 1) 前年度に引き続き、「四街道市高齢者見守り活動に関する協定」による高齢者見守り活動を実施
- 2) 会員の能力や知識を活用した、ボランティア活動や文化活動等の計画づくりと実施機会の創出を図る
- 3) 市民を対象とした講習会や研修会の企画実施
- 4) その他、地域貢献に関すること

(4) 組織体制の強化

- 1) 地域班活動の活性化を図る
- 2) 職群班の強化に努める
- 3) 会員の連続就業の制限等について検討
- 4) その他、組織体制の強化に関する事

(5) 安全・適正就業の推進

適正就業と安全就業は、センター活動の根幹をなすものです。昨年度に引き続き、就業の内容や形態を点検して適正な就業への改善を進めます。また、市民の信頼性確保や仕事のリピートは、会員の接遇の良否に負うところが大きく、会員への各種講習会等の機会をとらえて接遇意識の向上を図ります。

(6) 創立30周年記念事業の実施

当センターが、平成28年10月1日に創立30周年を迎えるにあたり、多様な社会参加活動を援助して、生きがいの充実と福祉の増進を図り、活力ある地域社会づくりに寄与するとともに、シルバー人材センター事業の普及と魅力あるセンターの啓発のため、会員のみならず市民も対象とした公益社団法人四街道市シルバー人材センター創立30周年記念事業を実施します。

- 1) 公益社団法人四街道市シルバー人材センター創立30周年記念式典
- 2) 公益社団法人四街道市シルバー人材センター創立30周年記念誌の発行
- 3) 公益社団法人四街道市シルバー人材センター創立30周年記念特別表彰
- 4) その他、周年記念に関する事業